

令和4年度地震・津波防災訓練 (内閣府・愛媛県・西条市・禎瑞地区)

実施報告書 (概要版)

愛媛県西条市について

西条市は、愛媛県の東部に位置し、南には西日本最高峰の石鎚山、北には瀬戸内海、中央には、平野が広がる海と山と平野がそろった自然豊かな地である。人口は、約10万6千人であり、両隣の今治市や新居浜市とともに、四国地方有数の工業都市ともなっている。

沿岸部は、西条平野や周桑平野が広がり、四国山地から流れ出た中小河川が瀬戸内海に注いでいる。特に、市のほぼ中央に位置する禎瑞地区は、河川に挟まれた低標高の干拓農地が広がる地形であり、昭和南海地震では、地盤沈下や堤防の損壊などによって大きな浸水被害を受けた歴史がある。また、最新の愛媛県の被害想定では、西条市が愛媛県内で最も大きな被害となることが想定されている。

こうしたことから、愛媛県は、「えひめ震災対策アクションプラン」等により、西条市の沿岸部において、南海トラフ地震津波災害に備え、建物の耐震化をはじめ、地域の特性に応じて、河川や海岸堤防、水門、排水機場等の整備を逐次進めている。

また、西条市は、津波避難ビルの指定、津波ハザードマップや地区別の詳細な防災地図の作成、各種防災訓練等を通じて、地域の特性に応じた津波避難対策を推進している。さらに、地区防災計画の策定支援など、地域における災害対応力の向上を図っている。



出典：国土地理院

訓練概要

訓練想定：令和4年11月5日（土）08:00頃、南海トラフ巨大地震（M9.1）が発生。西条市では、最大震度7を観測。地震の揺れによる早期浸水が発生し、かつ最大1mの津波が222分後に襲来する想定のもと訓練を実施。

実施日時：【訓練実施前WS】令和4年10月1日（土）09:00～12:00

【訓練】令和4年11月5日（土）08:00～11:30

【訓練実施後WS】令和4年12月14日（水）18:30～20:30

主催：禎瑞地区訓練実行委員会、西条市、愛媛県、内閣府

参加者数：約300名

参加機関：禎瑞地区自主防災組織、西条消防団、愛媛県、西条市

訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、防災講話等

訓練の特色：早期浸水を想定した津波避難訓練、被災体験者による防災講話

訓練の成果

【成果】

訓練前ワークショップでは、禎瑞地区を構成する6つの自治体毎に、詳細な防災地図やハザードマップをもとに、まず住んでいる地域の地震や津波のリスクを認識することができた。特に禎瑞地区は、低標高の干拓地であり、津波が到達する前に堤防等の損壊、地盤沈下、液状化等によって浸水することから、まず早期浸水に対応するための避難（1次避難）先として地区内の高台等への避難を検討することができた。

実動訓練では、シェイクアウト訓練に引き続き、1次避難場所までの避難、安否確認、情報伝達について約300名の地域住民の参加を得て検証することができた。併せて、禎瑞地区の消防団員が、「地震・津波災害発生時における安全管理マニュアル」に基づき、津波浸水想定区域内での行動原則・行動手順を検証した。避難訓練終了後は、約110名の参加を得て、内閣府アドバイザーである香川大学の磯打准教授及び倉敷市真備地区の被災体験者による防災講話を実施し、危機意識をもって災害に備えることや避難所生活の体験談により、防災意識の向上を図ることができた。

訓練後ワークショップでは、「防災組織を活性化する取り組み」や「普段から災害に対して家族で話し合いを実践する取り組み」が多くの参加者の支持を受け、地区防災計画の策定に向けた取り組みの契機とすることができた。

【課題】

訓練を通じて、防災行政無線が聞こえにくいことや訓練参加者数が少ないこと、要支援者への対応が十分ではないこと等の課題や地区外の指定避難場所までの避難（2次避難）検証を検証する必要性も改めて認識することができた。

10月1日(土) 09:00～12:00 訓練実施前ワークショップ

・西条市による訓練計画、愛媛県による堤防等の整備状況、内閣府アドバイザーによる防災講話を実施した。その後、6地区毎のグループに分かれ、津波ハザードマップや地区別防災地図をもとに、津波や早期浸水から命を守るための避難の戦略を話し合い、その結果を相互に発表し共有した。

防災講話
（香川大学 磯打准教授）



ワークショップの様子



11月5日(土)08:00～11:30 実動訓練（シェイクアウト訓練・津波避難訓練等）

・防災行政無線放送によりシェイクアウト訓練から開始し、その後、禎瑞地区の自治会毎に設定した1次避難場所までの避難訓練、安否確認訓練、情報伝達訓練を実施した。

シェイクアウト訓練



津波避難場所への避難訓練



情報伝達訓練



・訓練参加者は、禎瑞小学校会場に集まり、展示訓練、内閣府アドバイザーによる防災講話や被災体験者による避難行動や避難所生活に関する講話を実施した。

非常持ち出品等の展示訓練



内閣府アドバイザーによる防災講話



被災体験者による防災講話



・訓練には、西条市消防団が参加し、消防団としての対応マニュアルの検証を併せて実施した。

12月14日(水)18:30～20:30 訓練実施後ワークショップ

・訓練の振り返りや消防団による検討成果の発表を実施した。その後、防災専門家による指導を受けつつ、各グループ毎に、今後、地域として取り組みたいことを話し合い、最後に、最優先で取り組むべき事項を参加者全員で投票により明らかにした。また、南トラ臨時情報に関する情報提供を行い、地震津波防災について、より一層の理解を深めた。

ワークショップの様子

